

令和3年12月20日

各位

宮崎第一信用金庫

産学金連携による新商品開発について

当金庫は、地元の中小企業の支援事業の一環として、現在「わがまち基金」を柱とした食文化への支援を行っておりますが、本日は、「産」「学」「金」の連携事業のご紹介です。

この取り組みは、国立大学法人宮崎大学（学長 鮫島 浩）、有限会社 日高信義商店（代表 日高 久夫）、きくらげ堂（代表 黒木 真二）に、当金庫を加えた4者の連携事業で、具体的には、教育学部湯地教授、大矢准教授と学生、企業担当者、当金庫経営サポートセンター職員によって、地産地消における地元の珍しい食材「白きくらげ」を使った、新たな食感のスイーツ「白華大福」を開発しました。

白きくらげは、美や健康促進に欠かせない成分を含んでいるほか、ビタミンも多く含んでいます。特に、宮崎県産白きくらげは、農薬等を使用せず、形状も大きいことから、新たな農産物として期待されています。

今後も当金庫は、販路拡大と販売計画において、引き続き支援していく予定です。大学の持つ学術的な「知」と信用金庫が持つ地域密着型の「知」を結びつけることにより、地域産業の価値を高め、地域が更に活性化するよう、これからも、地元の事業者の皆さまの事業継続・発展に積極的に貢献して参ります。

開発中の「白華大福」



プロジェクトミーティング



<対応するSDGs>

